

第489号 7月号 2025.7.18

岐阜県

商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107



“心が動けば、まちが動く。未来を歩く、まちなかの物語。” まちなかスクエアガーデン

◆主催：大垣市商店街振興組合連合会

6月1日(日)に、大垣駅通り・大垣公園他で「まちなかスクエアガーデン」が開催されました。大垣市商店街振興組合連合会の西田さんにお話を伺い、イベントの取材をさせていただきました。

大垣市商店街振興組合連合会 西田さん

■ 若い力を生かした街づくり

西田さんは、「街を元気にしたい」という強い想いを胸に、若い世代を中心とした街づくりに取り組んでいらっしゃいます。もともとこの商店街は補助金に頼ることが多く、動きが鈍くなっていたそうです。そんな状況を変えようと、今では若手や店舗オーナーの方々が自ら場所を活用し、イベントを企画するようになりました。こうした取り組みが、街に新しい風を呼び込み、未来を担う若い世代が活躍できる環境を整えています。「街を元気にするには、新しい風を取り入れることが大切なんです。」と、柔らかくも力強い言葉が印象に残りました。

■ 季節ごとの開催で街に彩りを

イベントは、年間4回、季節ごとに開催されています。以前は毎月の開催だったそうですが、準備の負担を軽くし、一つひとつのイベントをより充実させるために、今のスタイルに変えたと話してくださいました。さらに、地域で行われる

他のお祭りと時期が重ならないよう工夫されており、訪れる方がゆったりと楽しめる場づくりがされています。季節ごとに表情を変える街の景色を楽しみに、何度でも足を運びたくなる、そんな温かい空気がこの街には流れていました。



▲まちなかスクエアガーデン開催への想い

フェイシャルサロン・マシェリ

スピリチュアルカウンセラー 國枝美悠紀さん

■ エステサロン経営とヒーリングへの思い

「エステって、ただ外見をきれいにするだけでは足りないんです。」國枝さんは、そんなふうに穏やかに語ってくださいました。エステサロンを営みながら、ヒーリングやご相談にも取り組んでいらっしゃいます。きっかけは、お客さまからの「もっと心から輝きたい」という声だったそうです。「いくら外側を磨いても、心が整ってい

なければ、本当の自信にはつながりません。だから私は、心にも寄り添いたいんです。」イベントに出店される際には、無償でアドバイスをされることも。「誰かが自分らしさに気づくきっかけになれば、それだけで十分なんです」。國枝さんのまなざしには、外見も内面もどちらも大切にしたいという、確かな信念がにじんでいました。



▲癒しヒーリング

■ 健康・仕事・使命に向き合う大切さ

「健康」や「使命」の話題になると、國枝さんの言葉にはさらに熱がこもります。「年齢を重ねるほどに、“今”がどれだけ大切かを実感するんです。」当たり前だと思っていた日々の尊さを改めて感じるようになったといいます。だからこそ、目の前の健康を守りながら、心にも目を向けることが欠かせないと國枝さんは話してくださいました。使命とは何か。國枝さんは「人を笑顔に導くこと」と、静かに言葉を重ねます。「外見を整え、心を磨く。その積み重ねが、その人の人生を肯定的なものに変えていくんです。私はそのお手伝いがしたい。」國枝さんの信念は、やわらかく、でも力強く、言葉の端々から伝わってきました。

主催：株式会社現代設計事務所

■ 設計事務所が手がける新しい不動産活用

「空き家や空き店舗にも、まだ息づく力があるんです。」そう語ってくれたのは、設計事務所と

して地域に寄り添う取り組みを続ける皆さんです。建物の持つ古き良き味わいを大切に残し、人が集まる場所へと再生する。その根底には、街にもう一度活気を取り戻したいという、事務所全体の揺るぎない想いがありました。不動産業も、単なる賃貸ではなく、オーナーの夢と新たな担い手を結び、街のにぎわいを育てる—そんな信念をもって活動されています。



▲空き店舗見学ツアー@大垣駅通りアーケード

■ 副業・創業支援としてのレンタルスペース活用

「今は多産多消の時代ではありません。あるものに、もう一度光を当てることが大切です」。設計事務所が手がけるレンタルスペースは、創業を志す人たちに小さな挑戦の場を提供しています。日替わりでカフェや食堂が開かれ、夢を試すことができる舞台となり、地域に新たなにぎわいが生まれています。建物の再生を通じて、人が集まり、笑顔が広がる—そんな未来を見据え、街を元気にしたいという事務所のあたたかな想いが、取材を通して強く伝わってきました。

主催：NPO法人 緑の風

■ 水の街にふさわしい水辺アクティビティ

「水の街」としての魅力をもっと広く伝えたい—そんな想いから生まれたのが、この水辺アクティビティです。活動の中心となるのは、川の楽しさを伝えてきた「NPO法人緑の風」。子どもだけでなく、大人にも川とふれあう機会を届け、まちの自然の素晴らしさを改めて感じて

raitai. そんな願いを胸に、夏のひとときを特別な体験へと変えています。

■ 川遊びを通じた新たな趣味の入り口提供

自然の中で遊ぶ楽しさを、世代を超えて届けたい——その思いから、誰もが気軽に参加できるよう、500円の参加費と道具の貸し出しが用意されています。川遊びに初めて触れる子どもたちも、忙しい毎日を忘れて楽しむ大人たちも、ここでの体験を通して新しい趣味への入り口を見つけていきます。未来へつながるふるさとの力を、静かに、でも確かに育んでいる活動です。



▲水門川SUP体験会

“届ける熱意、支える工夫、選ぶ楽しさ。全部揃って市になる” 第145回 SUNDAY BUILDING MARKET

◆主催：柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社

6月15日（日）に柳ヶ瀬商店街にて、「SUNDAY BUILDING MARKET」が開催されました。柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社の福富さんにお話を伺いました。

※本文中は、「SUNDAY BUILDING MARKET」を、愛称の「サンビル」と表記します。



▲主催者の想いを綴った「ウィンドウサイン」

■ 続けて100回！サンビル物語

サンビルは、2014年から続く柳ヶ瀬の定期マーケットです。2022年12月には記念すべき第100回を達成し、今回で145回目

の開催を迎えました。多くの出店者と来場者に支えられながら、地域の風物詩として成長を続けています。

イベントのはじまりは、実行委員会による小さな活動でしたが、より本格的な運営を目指して法人化。今では、地域を代表するマーケットイベントとして定着しています。

コロナ禍では、一時的な中止を余儀なくされましたが、「街のインフラとして続けるべきだ」との思いから、規模を縮小しながらも継続開催を実現しました。こうした柔軟な運営判断こそが、息の長いイベント運営の秘訣かもしれません。商店街の変化とともに歩んできたこの10年間は、地域とイベントの共成長の証といえるでしょう。

■ 広がる輪！出店者と来場者がつくる場

サンビルには毎回150店舗ほどが出店します。リピート出店者が中心ですが、新しいお店も毎回1割ほど加わり、常に新鮮な雰囲気が保たれています。固定の顔ぶれと新しい風が交差する、まさに「広がる輪」のような場です。

また、情報発信も出店者が主体となって行うことが多く、「今月もサンビル出ます！」という

SNS投稿が、結果的に最も効果的な宣伝になっています。自分の店を紹介しながらサンビルの魅力も広めてくれる。そんな関係性が自然と築かれていることが、運営側にとっても大きな励みとなっています。



▲開始30分後の柳ヶ瀬本通りの様子

■ 持続するための運営の工夫

毎月の開催は簡単なことではありません。だからこそ、サンビルでは持続するための“仕組みづくり”が徹底されています。たとえば、出店者には保健所の申請などを各自で対応してもらう代わりに、主催側は会場設計や出店選考に集中。得意なことを分担して、スムーズな運営を可能にしています。

運営スタッフは正社員2名、契約社員やアルバイトを含めても5名ほど。それでもこの規模を保てるのは、日々の積み重ねと、綿密なスケジュールリング、そして柔軟な発想によるものです。少人数でやりくりしながらも「その時のベストを更新したい」と語る福富さんの姿に、プロ意識と地域愛がにじんでいます。

■ このブース、アリ？ナシ？選考の舞台裏

出店希望者は多く、すべてを受け入れることはできません。そのため、毎回スタッフが選考を行っています。2ヶ月前には受付を締め切り、内容を総合的に判断して決定していきます。

選考の基準は明確で、商品の安全性やそのこだわり、そしてイベント全体のコンセプトに合うかどうかなど、いくつかの要素を吟味しながら出店者を選んでいきます。

また、開催エリアも商店街や公園など複数にまたがっており、出店場所の調整には毎回細やかなやりとりが必要です。イベントごとに少しずつ条件が変わる中で、最適な形を模索し続けるスタッフの姿がうかがえました。



▲日ノ出町通りでのストリートパフォーマンス

■ 古着イベント、私が育ててます！

古着イベントの企画・運営を担当しているのは、今回お話を伺った福富さんです。若手スタッフらでアイデアを出し、サンビル内で小さな実験的取り組みとしてスタートさせました。発案から運営まですべてに関わり、来場者の反応を見ながら改善を重ね、イベントを育ててきたのです。

「古着イベントは、私が担当しています」と話す福富さん。その言葉の背景には、ただの担当者以上の情熱と責任感が込められていました。今では古着イベントもサンビルのひとつの顔として知られる存在に。サンビルはこうしたスタッ



▲金公園に設置されたフードコート

フの挑戦を受け入れ、支え合う土壤があるからこそ、多彩でいきいきとした空気に満ちているのだと感じられます。

■ 変わる街と、変わらない想い

会場である柳ヶ瀬商店街もまた、少しずつ姿を変えています。老舗百貨店の跡地は解体され、新たに広場として整備される予定です。これに伴い、イベントの配置や動線も変化を続けています。

その一方で、「変わらない想い」も大切にされています。それは、「まちに人が集まり、笑顔が生まれる場所でありたい」ということ。継続しつつも少しずつ新しい風を取り入れる。そんな絶妙なバランスで、サンビルはこれからも地域に根ざしたイベントとして続いていくことでしょ

う。

■ 編集後記～取材を終えて～

サンビルは、主催者・出店者・来場者の三者が協力し、地域経済を内側から循環させるイベントです。毎月の開催で安定的な人流を創出し、商店街の活性化に貢献。出店者にとっては販路拡大と顧客との直接接点、来場者にとっては発見と交流の体験価値を提供します。主催者は運営モデルをマニュアル化し、他地域展開や行政連携にも応用可能なノウハウ資産を蓄積。地域とともに育つ、持続可能なローカル経済モデルといえるでしょう。

【取材・記事 中小企業診断士 都築宏一】

◆ 令和7年度中小企業アドバイザー(中心市街地活性化)派遣事業

本事業は、中心市街地活性化等に関し課題を抱える下記のアドバイス対象者を側面支援するため、実務知識・ノウハウを持つ専門家を派遣し、アドバイスをを行うものです。

派遣先の自主性の尊重をアドバイスの基本とするため、アドバイスを受ける側に入りこむような作業(代行や労力の提供)のほか、協議会の判断や意思決定を主導することはいたしません。一般的に言う「経営コンサルタント」とは、皆様との関わり方において異なる点がある事をご承知おきください。

アドバイス対象者

- 中心市街地活性化協議会
- 中心市街地活性化法による中心市街地活性化協議会の組成を検討する者等

受付期間

令和7年4月1日(火)～令和8年2月27日(金)

派遣実施期間

令和7年4月～令和8年3月13日(金)

アドバイス時間

原則として1回の派遣につき1日の助言

利用日数

年間合計10回以内の派遣

利用者負担

年間合計3回の派遣(基本計画認定中の地域は5回)まで無料

※上記を超える場合は1回の派遣につき17,500円(税込)のご負担となります。(受益者負担)

※テーマごとの無料期間ではございませんので、ご注意ください。

対象事業

次の①②いずれかに掲載されている事業が対象となります。

①法に基づく認定計画掲載事業もしくは掲載見込の事業

②各地域で定めた中心市街地活性化のための計画の掲載事業もしくは掲載見込の事業

※内閣総理大臣の認定を受けていない計画および認定計画期間が終了した計画も含まれます。

アドバイステーマ

①中心市街地活性化協議会の運営強化

②中心市街地活性化協議会による基本計画への意見提示

- ③施設整備計画の策定および見直し
- ④施設運営に係る事業主体の構築
- ⑤ソフト事業計画の策定および見直し
- ⑥ソフト事業運営に係る事業主体の構築
- ⑦まちづくり会社等の運営改善
- ⑧タウンマネージャー活動の業務改善
- ⑨エリアマネジメント全般に係る課題解決
- ⑩その他機構が認めるテーマ

派遣するアドバイザー

中小機構に登録された中小企業アドバイザー

※派遣対象となる中活協議会の設置者・構成組織、認定民間中心市街地商業活性化事業者の従業員等をアドバイザーとして派遣することはできません。

※派遣先地域のタウンマネージャーに就任している者またはタウンマネージャー業務を行っている者は、その地域におけるアドバイザーとして派遣することはできません。

※上記の他、派遣先と密接な関係にあると機構が判断する者については、アドバイザーとしての派遣をお断りする場合があります。

アドバイスの対象外の業務

次の内容は、本制度における「アドバイス」とはならず、業務対象となりません。

- ①「計画作り」等の実務作業をアドバイザーが協議会等に代わって行うこと
- ②本来協議会等の事務局またはタウンマネージャー、事業の実施主体者などが行うべき業務（例：協議会等の立場としての各種交渉・調整、協議会等として判断や意思決定）
- ③資料の作成代行、会議の司会進行
- ④講演・セミナー等における講師や出演者、他都市の事例視察等

お問い合わせ先

独立行政法人中小企業基盤整備機構

高度化事業部 経営診断統括室 まちづくり推進室

〒105-8453

東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

TEL: 03-5470-1632 (直通)

■勉強会・セミナー開催のお知らせ

人材育成事業 第1回勉強会

日 時：令和7年7月23日(水) 13:30～15:30

場 所：OKBふれあい会館 4階 403会議室(岐阜市藪田南5-14-53)

テーマ：「現役プロカメラマンが教える スマホでできるSNS活用の写真撮影」

講 師：プロカメラマン 白川間弓美氏

商店街活性化支援事業 セミナー

日 時：令和7年8月26日(火) 13:30～15:50

場 所：OKBふれあい会館 14階 展望レセプションルーム(岐阜市藪田南5-14-53)

テーマ：「可視化データを身近に感じるRESAS活用研修」

講 師：中部経済産業局 RESAS調査員 種田英司氏
滝沢 充氏

人材育成事業 第2回勉強会

日 時：令和7年9月24日(水) 13:30～15:30

場 所：OKBふれあい会館 4階 405会議室(岐阜市藪田南5-14-53)

テーマ：「SNS活用、動画制作の基本を学ぶ」

講 師：有限会社エアーズプラン ITデザイナー 石井克成氏

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。